

知床の森から

平成8年4月 第42号



北見営林支局
知床森林センター

☎ 099-41 北海道斜里郡斜里町本町11番地
☎ 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160



フクリュソウ (キンボウグ科)

早春の 知床 森は白銀に映えて

～歩くスキー・最高の天気～

第29回「森林レクリエーション in知床」『歩くスキー-早春の知床ウオッチング』は、3月16日(土)に実施されました。

雪の知床の森をスキーで歩きたいという熱い思いの人たちが、北見市・網走市・地元斜里町から21名集まりました。年齢は30才から81才の大人たちで、男性5名女性16名の色彩豊かな一団となりました。今回のイベントのテーマは、スキーで自然溢れる森の中に入り、白銀の森や大木のたたずまい、早春の自然を肌で感じ楽しんで頂くというものです。

絶好の晴天はまさに天恵。コースはオシンコシンの涌上旧道地点から林の切れるウトロ高台まで、約5kmの起伏に富む林間コースです。センターが設けた午前中のステージは、トドマツ(胸高直径86cm)、水面を見せる名もない池、エソマツ・トドマツの林木遺伝資源保存林、凍裂現象、巨大なマムシ岩(粗粒玄武岩柱状節理)、アカエソマツ(同直径72cm)、クマガラの営巣・探餌孔などで、ステージごとに森林インストラクターの話があります。その合間にエゾリス・エゾシカ・ゴジュウカラ・カケス・オオワシとの遭遇、スキー転倒の囂声や囁き立て、ジョークが飛び交い楽しい雰囲気を作ります。

昼休みはセンター手作り豚汁に満足したあと、午後のステージが始まります。アムール川沖で発生した氷が流氷となって南下し、知床の海岸を埋め尽くした大氷原の眺望、キハダ(同70cm)・ミスナラ(126cm)・オヒョウニレ(138cm)の大木、キタコブシの樹らみ始めた冬芽などを観察し、今日の全ステージを完了しました。

暖かい陽光の下純白の雪面を滑り、早春の森と色いろな出会いや体験、明るい雰囲気、心地よい汗と充足感で、今日のみなさんはじつに好い表情をしていました。無事下山した一行はセンターで休息したあと、センター職員に見送られながら網走・北見方面に向うバスで帰路につきました。



エゾシカ 今年も顕著！ 樹皮食害

4月に入って春は一段と進み、雪解け水を集めて川面も湧らんでいます。知床の森も明らかに春の気配で、その森も当然ながら健在です。実をいえば森を形づくる樹木は多くの試験にさらされており、その試験とは強風・風雪などの気象害、病菌害、動物害などの可能性です。森はまれに火災や病気・虫害などで大きな被害を受けますが、日常的には小さい被害はいつも受けています。森はこれらの小被害を試験として受け入れながら森として在り続けています。

今年もまた例年どおりエゾシカによる食害痕の生々しい樹木がずいぶん目につきます。知床半島の多くは野生動物のサンクチュアリであり、中でもエゾシカの姿は冬に多く目につきます。知床には多くのいのちを支える豊かさがあるとはいえ、冬は別。エゾシカにとって樹皮を常食とせねばならない環境は、まさに最悪といえます。

問題はこの探餌の結果が木を枯らせ、森そのものを破壊する可能性をもっていることです。天然更新による回復の遅い森にとっては、大きなダメージとなります。こういう脆さをもつた森は知床にもあります。多くの野生動物が、生態系に加えるダメージに十分耐えうる強靱かつ健全な森づくりが、いつの時代にも必要といえます。



エゾシカによる樹皮の食害を受けたオヒョウニレ

春ですよ

うれしい訪問者

キレンジャク
(レンジャク科)
オス・メス類似



3月も中旬を過ぎれば、厳冬の知床にもそこはかとなく春の気配が感じられるようになる。

知床森林センター事務所の周りの積雪も、目に見えて解け始めた下旬、アオジ(ホオジロ科)の群れがセンターを訪れた。カラマツやイタヤカエデ・ナナカマドに鈴なりに止り、すぐ飛び立つ。こんなことが数回くり返された。羽色の体色が新鮮だ。本州以南で越冬し繁殖のため渡来したのだろう。

4月初日にはキレンジャク(レンジャク科)が数十羽訪れた。頭上の羽冠が精悍で、行動にも野生味が溢れている。第一波第二波と入れ替わ

アオジ
(ホオジロ科)
オス



るように軍団が席を交替し、小枝は嬉しそうに揺らいでいた。群れは町を席巻するように飛び回り、数日後姿を消した。シベリヤ東北部に繁殖のため飛び立ったのだろう。このような大群は何年ぶりだろう。そういえば今年はヤドリギが目立ち、黄赤色の実をたわわに付けて、鳥たちを待っていた気配が一方ではあった。

春の使者たちの群れなす訪問の後、知床の春は芽実に進んでいる。

人事異動がありました。

4月1日付をもってセンター職員に異動がありました。国枝豊君が転出し、田村昌浩・稲川馨の両君が昇任しました。これでセンターの構成人員は7名となりました。所長以下みな元気です。今後ともよろしくお願いたします。

